



SEIKO WATCH CORPORATION
www.grand-seiko.com

BSJ9FCCF-2303
Printed in Japan



GS
Grand Seiko

Quartz
Operating Instructions

この度はグランドセイコーをお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、
弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは
お取扱いいただけない場合があります。

お買い上げ時の電池は、機能や性能を検査するための電池(モニター電池)です。
保証期間内でも電池交換は有料となります。

商品に傷防止用の保護シールが貼られている場合があります。
必ずはがしてお使いください。貼られたままにしておくと、汚れ、汗、ごみ、
水分などが付着してさび発生の原因となります。

目次

■ 製品取り扱い上のご注意	2
■ キャリバー番号および防水性能ご確認のお願い	3
■ 防水性能に関するご注意	4
■ 各部の名称	7
■ ご使用方法	10
• りゅうずについて	10
• ご使用方法(9F83の場合)	11
• ご使用方法(9F82、9F62の場合)	13
• ご使用方法(9F85の場合)	15
• ご使用方法(9F86の場合)	20
※ 世界の主な地域の時差一覧	26
• ご使用方法(9F61、4J51の場合)	27
• ご使用方法(4J52の場合)	28
• ご使用方法(8J55の場合)	30
■ ダイバーズモデルの機能	31
• 回転ベゼルについて	31
• ダイバーアジャスターについて	32
• 電池交換時期のめやすについて	33
■ ご注意いただきたいこと	34
• アフターサービスについて	34
• 保証について	35
• お手入れについて	36
• バンドについて	37
• 耐磁性能について(磁気の影響)	38
• ルミブライトについて	39
• こんなときには	39
■ うるう秒について	40
■ 製品仕様(ムーブメント関係)	40
■ 使用電池	40

■ 製品取り扱い上のご注意

△ 警告 取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

次のような場合、ご使用を中止してください

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
 - バンドのピンが飛び出してきた場合
- ※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品・電池を置かないでください

部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

時計から電池を取り出さないでください

電池の交換には専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。電池は充電しないでください。破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。

△ 注意 取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ (除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
 - 5℃～35℃を外れる温度に長期間なるところ ○ 高湿度なところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ ○ ほこりの多いところ
 - 強い振動のあるところ
- ※ 電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。

アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

その他のご注意

- 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
- 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
- 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。
- 時計を外してそのまま置くと、裏ぶたとバンドや中留が擦れて、裏ぶた表面に傷が付く可能性がありますのでご注意ください。時計を外した場合は、柔らかい布等を挟んでおくことをおすすめします。

■ キャリバー番号および防水性能ご確認のお願い

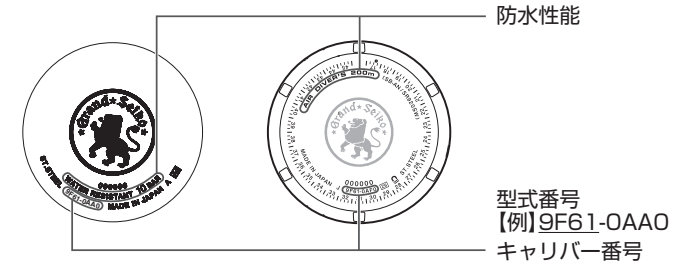
キャリバーについて

ムーブメント(時計の機械体)の型式を表す 4 桁の番号です。グランドセイコーには専用のムーブメントが搭載されており、メカニカルキャリバーは 9S、スプリングドライブキャリバーは 9R、クォーツキャリバーは 9F、8J、4J から始まる 4 桁で表されます。

確認方法

裏ぶたに記載の型式番号 4 桁がキャリバー番号となります。

<通常の裏ぶたの場合> <ダイバーズモデルの裏ぶたの場合>



※ 上記の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。

裏ぶた表示	防水性能	お取り扱い方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないでください。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 △ 警告 水泳には使用しないでください。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で 10 (20) 気圧防水です。	空気ポンペを使用しないスキンダイビングに使用できます。
DIVER'S WATCH 200m	空気潜水用防水で 200 メートル防水です。	空気ポンペを使用するスキューバダイビングに使用できます。

■ 防水性能に関するご注意

⚠ 注意



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。

※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。

お早めにお買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることで、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

性能表示が「WATER RESISTANT」の場合

⚠ 警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください

スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用ください。

⚠ 注意



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

性能表示が「DIVER'S WATCH 200m」の場合

⚠ 警告

○ヘリウムガスを使用する「飽和潜水」には絶対に使用しないでください。
○潜水中は、本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください。

⚠ 注意

ダイビングでのご使用にあたっては、各種のダイビングに関する安全教育やトレーニングを受け、ルールを守ってご使用ください。

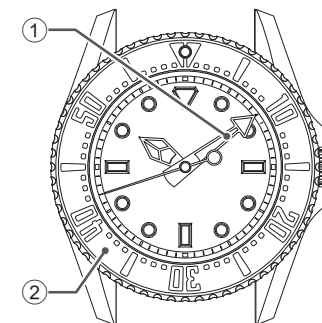
潜水に際しての注意事項

潜水前

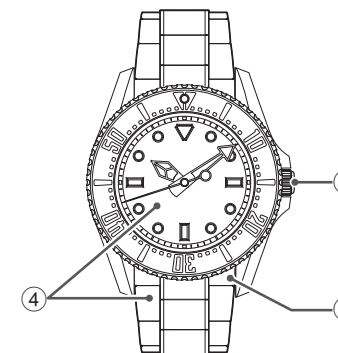
次の項目を点検してください。

「各部の名称」→ P.9

- ① 時刻が正確にセットされているか。
- ② 回転ベゼルの回り具合は良好か。
(ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか。)
「回転ベゼルについて」→ P.31



- ③ りゅうずのねじをしっかりとめるか。
「ねじロック式りゅうずについて」→ P.10
- ④ バンドとガラスにひび、欠けなどの異常がないか。
- ⑤ バンドの固定は確実か。(ばね棒、中留、その他)



⚠ 注意

万が一、異常が認められた場合はお買い上げ店、またはお客様相談窓口にご相談ください。

潜水中

次の項目をご確認の上、ご使用ください。



文字板などに記された深度までの範囲でご使用ください。



水中でのりゅうずやボタンの操作はしないでください。



岩などにぶつけないように注意してください。



回転ベゼルは水の中ではやや回転がきつくなることがありますが、異常ではありません。

潜水後

潜水後のお手入れは、次のように行ってください。

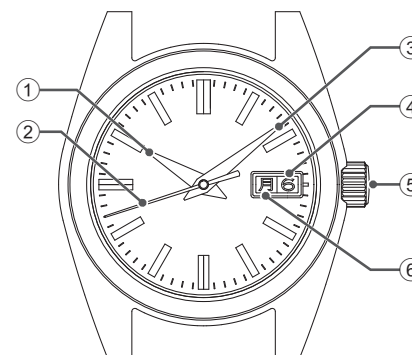


必ず真水でよく洗ってから、ふき取ってください。
直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。



■各部の名称

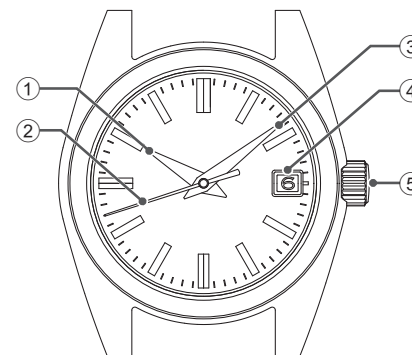
9F83



- ① 時針
- ② 秒針
- ③ 分針
- ④ 日付
- ⑤ りゅうず
- ⑥ 曜日

時刻・日付・曜日の合わせかた→ P.11

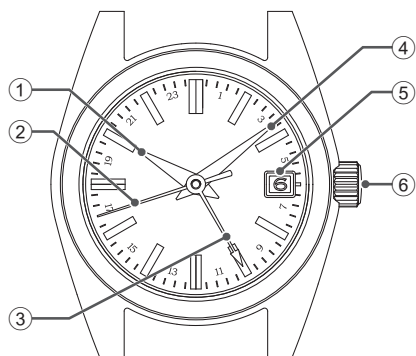
9F85、9F82、9F62、4J52



- ① 時針
- ② 秒針
- ③ 分針
- ④ 日付
- ⑤ りゅうず

9F85 の時刻・日付の合わせかた→ P.15
9F82、9F62 の時刻・日付の合わせかた→ P.13
4J52 の時刻・日付の合わせかた→ P.28

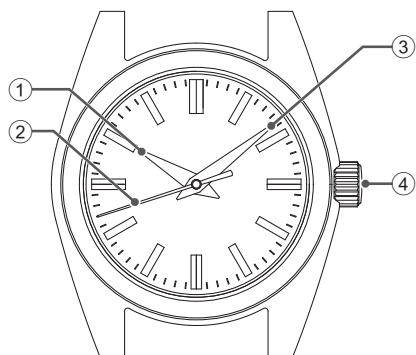
9F86



- ① 時針
- ② 秒針
- ③ 24 時針
- ④ 分針
- ⑤ 日付
- ⑥ りゅうず

時刻・日付の合わせかた→ P.20

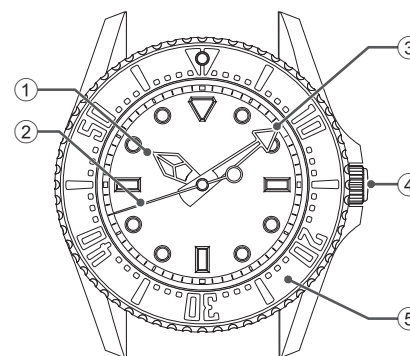
9F61、8J55、4J51



- ① 時針
- ② 秒針
- ③ 分針
- ④ りゅうず

9F61、4J51 の時刻の合わせかた→ P.27
8J55 の時刻の合わせかた→ P.30

9F61(ダイバーズタイプ)



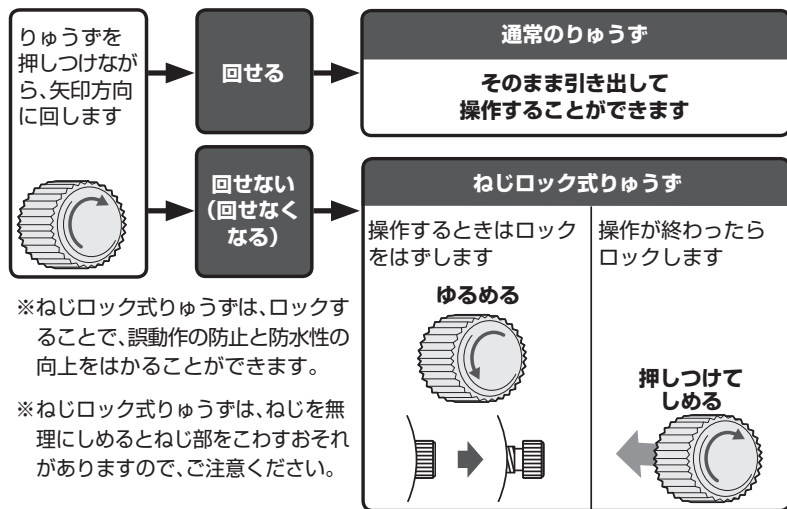
- ① 時針
- ② 秒針
- ③ 分針
- ④ りゅうず
- ⑤ 回転ベゼル

時刻の合わせかた→ P.27
ダイバーズモデルの機能→ P.31
潜水に際しての注意事項→ P.5

■ ご使用方法

りゅうずについて

りゅうずには、通常のものと同ロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。

※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこすおそれがありますので、ご注意ください。

※りゅうずは時々回してください。→ P.36

ねじロック式りゅうずについて

誤動作の防止と防水性の向上のために、使わないときはりゅうずをねじでロックできる構造です。

○りゅうずを操作するときはロックをはずしてください

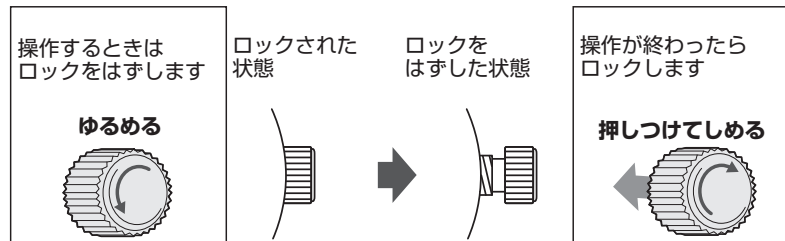
○操作が終わったらロックをしてください

【ロックのしかた】

りゅうずを左方向(6時方向)に回してください。ねじがゆるんで、りゅうずが操作できるようになります。

【ロックのしかた】

りゅうずを時計本体に軽く押しつけながら、右方向(12時方向)に止まるまで回してください。



※ロックをするときは、ねじのかみあい具合に注意してゆっくりと押しながら回してください。無理に押し込むと、ねじ部(ケース)を壊す恐れがありますのでご注意ください。

ご使用方法(9F83の場合)

⚠ 注意

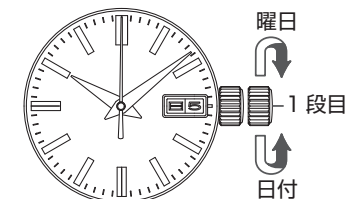
時計の機構上、午前0時~午前1時の間、日付/曜日の修正ができない場合がありますが、故障ではありません。

この時間帯での操作はできるだけお避けください。

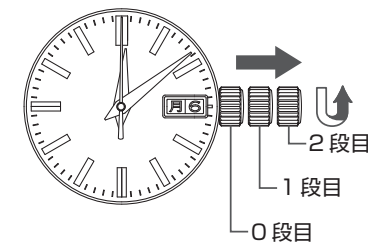
時刻・日付・曜日の合わせかた

① 最初に、日付/曜日を合わせます。りゅうずを1段引き出します。(秒針は動いています。)

② りゅうずを回して合わせたい日の前日の日付/曜日にセットしてください。りゅうずを左方向(6時方向)に回すごとに一日ずつ、また、右方向(12時方向)に回すごとに曜日が一曜ずつ和/英をくり返ししながら進みます。



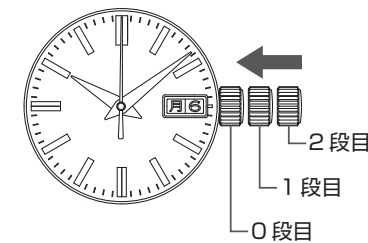
③ 次に、秒針が12時の位置にきたら、りゅうずを2段目まで引き出します。(秒針は止まります。) 今日の日付/曜日になるまで、りゅうずを左方向(6時方向)に回して針を進めてください。



④ 日付は24時間で一日変わるよう設計されていますので、午前/午後を間違えないようになりゅうずを回して時刻を合わせてください。

クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから逆にもどすように合わせてください。

⑤ 時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込むと再び動き出します。



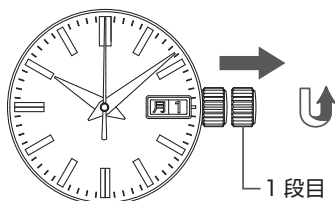
月末の日付修正について

2月(一カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(一カ月が30日)では日付の修正が必要になります。

【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合

「1日」ではなく「31日」が表示されています。リゅうずを1段目に引き出して、日付が「1日」になるようにリゅうずを左方向(6時方向)に回してください。

リゅうずを押し込むと操作は完了です。



日付／曜日の瞬間送りについて

機種 9F83 は通常運針中、午前0時00分～午前0時05分の間の瞬間時に日付／曜日が変わるように設計されています。

(通常のクォーツ時計は午後9時～午前3時の間に徐々に表示が変わるように設計されています。)

※時刻の合わせかたによって、瞬間送りができない場合があります。

合わせたい時刻が午後7時～午前1時の場合、一旦、午後6時まで戻した後、時計回りに時針が進むようにリゅうずを左方向(6時方向)に回して合わせてください。

ご使用方法(9F82、9F62の場合)

⚠ 注意

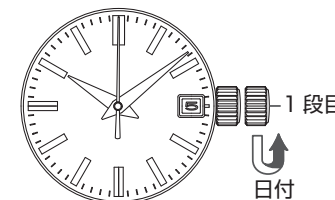
時計の機構上、午前0時～午前1時の間、日付の修正ができない場合がありますが、故障ではありません。

この時間帯での操作はできるだけお避けください。

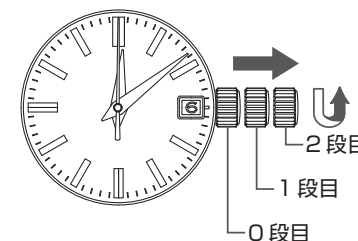
時刻・日付の合わせかた

① 最初に、日付を合わせます。リゅうずを1段引き出します。(秒針は動いています)

② リゅうずを左方向(6時方向)に回して合わせたい日の前日の日付にセットしてください。

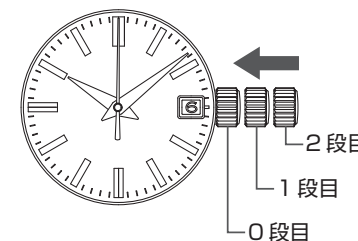


③ 次に、秒針が12時の位置にきたら、リゅうずを2段目まで引き出します。(秒針は止まります。) 今日の日付になるまで、リゅうずを左方向(6時方向)に回して針を進めてください。



④ 日付は24時間で一日変わるように設計されていますので、午前／午後を間違えないようにリゅうずを回して時刻を合わせてください。クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4～5分進めてから逆にもどすように合わせてください。

⑤ 時報と同時にリゅうずを0段目まで押し込むと再び動き出します。



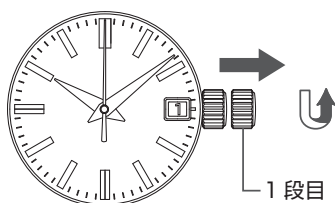
月末の日付修正について

2月(一カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(一カ月が30日)では日付の修正が必要になります。

【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合

「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出して、日付が「1日」になるようにりゅうずを左方向(6時方向)に回してください。

りゅうずを押し込むと操作は完了です。



日付の瞬間送りについて

機種 9F82、9F62 は通常運針中、午前0時00分～午前0時05分間の瞬間時に日付が変わるように設計されています。

(通常のクォーツ時計は午後9時～午前0時の間に徐々に表示が変わるように設計されています。)

※時刻の合わせかたによって、瞬間送りができない場合があります。

合わせたい時刻が午後7時～午前1時の場合、一旦、午後6時まで戻した後、時計回りに時針が進むようにりゅうずを左方向(6時方向)に回して合わせてください。

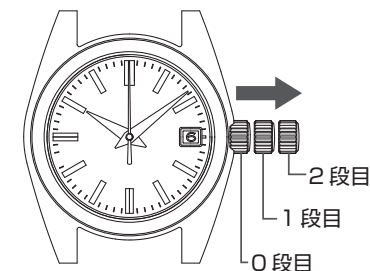
ご使用方法(9F85の場合)

時刻・日付を合わせるには

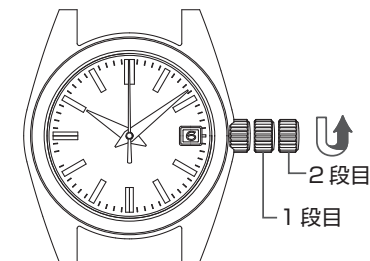
時刻・日付を合わせる時は、分針を最初に合わせ、その後で時針と日付を合わせます。

時刻・日付の合わせかた

- ① 秒針が12時の位置にきたら、りゅうずを2段目まで引き出します。(秒針は止まります。)
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)

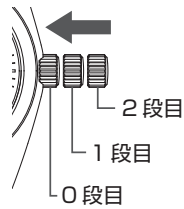


- ② 時計回りに針が進むように、りゅうずを左方向(6時方向)に回し、分針に注目しながら時刻を合わせます。
クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4～5分進めてから逆にもどすように合わせてください。

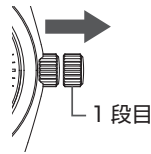


※時針が、合わせたい時刻とは異なる時刻を指しているときや、時針の位置によって日付が変わることがありますが、まず先に、分針を合わせましょう。

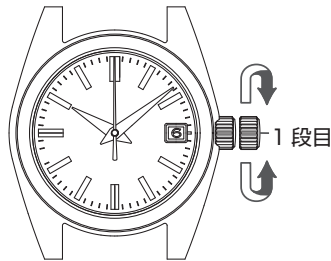
- ③ 時報などに合わせてりゅうずを押し込みます。
※これで分針、秒針が合った状態になります。



- ④ 次に、時針と日付を合わせます。りゅうずを1段目まで引き出してください。

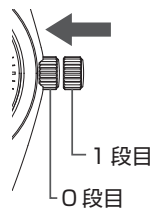


- ⑤ りゅうずを回して時針を合わせます。りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。午前・午後を確認して時刻を合わせましょう。



日付を合わせたいときは、ここで一緒に合わせてください。
※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ日付修正が少ない方向で合わせてください。
※合わせたい時刻が午後7時～午前1時の場合、一旦、午後6時まで戻した後、時計回りに時針が進むようにりゅうずを左方向(6時方向)に回して合わせてください。
※りゅうずを回すときは、時針の1時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。
※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。

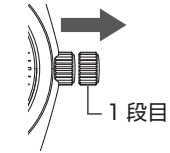
- ⑥ りゅうずを押し込むと操作は完了です。
(ねじロック式の場合は、ロックしてください。)



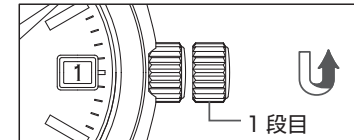
月末の日付修正について

2月(一カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(一カ月が30日)では日付の修正が必要になります。
日付の修正は、時針を2周させて行います。
時針を時計回りに2周(24時間)回すと「日を送る」ことができます。

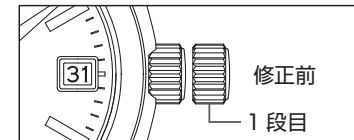
- ① りゅうずを1段目まで引き出してください。
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)



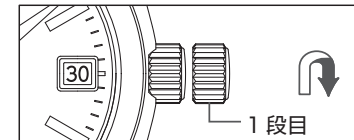
- ② りゅうずを回して、時針を2周させるごとに、日付が「一日分」修正されます。りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。午前・午後を確認して合わせましょう。



左方向(6時方向)に回す:
時針を2周させると日付が一日送られます。



※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ日付修正が少ない方向で合わせてください。
※りゅうずはゆっくりと回してください。
※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。



右方向(12時方向)に回す:
時針を2周させると日付が一日戻ります。

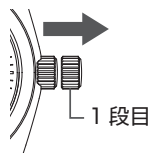
- ③ 操作が終わったら、時刻が合っているかどうかを確認してりゅうずを押し込んでください。これで操作は完了です。
 (ねじロック式の場合は、ロックしてください。)
 ※この操作では時針と日付が連動して動きます。
 そのため、時刻の午前・午後が合っていないと、日付が半日ずれることがあります。
 ※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ日付修正が少ない方向で合わせてください。
 ※合わせたい時刻が午後 7 時～午前 1 時の場合、一旦、午後 6 時まで戻した後、時計回りに時針が進むようにりゅうずを左方向(6 時方向)に回して合わせてください。
 ※りゅうずを回すときは、時針の一時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。
 ※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。

時差修正機能について

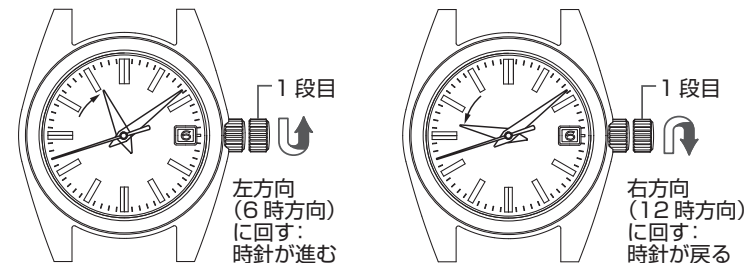
時差のある地域へ移動するときなどに、簡単に目的地の時刻に合わせられます。操作のときに時計を止めることはありません。
 時針は日付と連動しているため、正しい操作が行なわれると目的地の日付を表示します。

時差修正機能の使いかた

- ① りゅうずを 1 段目まで引き出してください。
 (ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)



- ② りゅうずを回して目的地の時刻に合わせます。
 午前・午後、日付を確認して合わせましょう。
 ※この操作では時針と日付が連動して動きます。
 そのため、時刻の午前・午後が合っていないと、日付が半日ずれることがあります。
 「世界の主な地域の時差一覧」→ P.26



- ※りゅうずを回すときは、時針の一時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。
 ※りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前 0 時です。
 ※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。
- ③ 操作が終わったら、時刻が合っているかどうかを確認してりゅうずを押し込んでください。これで操作は完了です。
 (ねじロック式の場合は、ロックしてください。)
 ※合わせたい時刻が午後 7 時～午前 1 時の場合、一旦、午後 6 時まで戻した後、時計回りに時針が進むようにりゅうずを左方向(6 時方向)に回して合わせてください。

日付の瞬間送りについて

機種 9F85 は通常運針中、午前 0 時 00 分～午前 0 時 05 分の間の瞬間時に日付が変わるように設計されています。
 (通常のクォーツ時計は午後 9 時～午前 0 時の間に徐々に表示が変わるように設計されています。)
 ※時刻の合わせかたによって、瞬間送りができない場合があります。
 合わせたい時刻が午後 7 時～午前 1 時の場合、一旦、午後 6 時まで戻した後、時計回りに時針が進むようにりゅうずを左方向(6 時方向)に回して合わせてください。

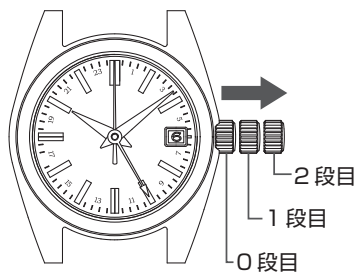
ご使用方法(9F86の場合)

時刻・日付を合わせるには

時刻・日付を合わせるときは、24 時針と分針を最初に合わせ、その後で時針と日付を合わせます。

時刻・日付の合わせかた

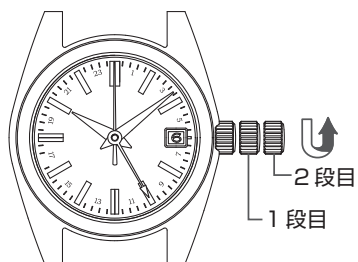
- ① 秒針が 12 時の位置にきたら、りゅうずを 2 段目まで引き出します。(秒針は止まります。)
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)



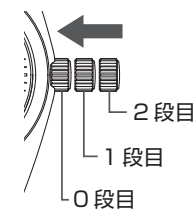
- ② 時計回りに針が進むように、りゅうずを左方向(6 時方向)に回し、分針と 24 時針に注目しながら時刻を合わせます。

クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦 4~5 分進めてから逆にもどすように合わせてください。

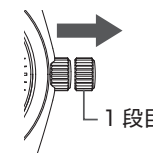
※時針が、合わせたい時刻とは異なる時刻を指しているときや、時針の位置によって日付が変わることがありますが、まず先に、分針と 24 時針を合わせましょう。



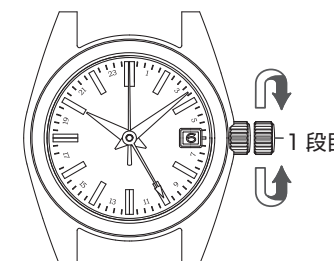
- ③ 時報などに合わせてりゅうずを押し込みます。
※これで 24 時針、分針、秒針が合った状態になります。



- ④ 次に、時針と日付を合わせます。りゅうずを 1 段目まで引き出してください。



- ⑤ りゅうずを回して時針を合わせます。りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前 0 時です。午前・午後を確認して時刻を合わせましょう。



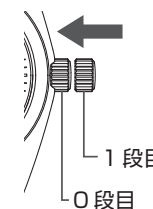
日付を合わせたいときは、ここで一緒に合わせてください。
※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ日付修正が少ない方向で合わせてください。

※合わせたい時刻が午後 7 時~午前 1 時の場合、一旦、午後 6 時まで戻した後、時計回りに時針が進むようにりゅうずを左方向(6 時方向)に回して合わせてください。

※りゅうずを回すときは、時針の一時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。

※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがありますが故障ではありません。

- ⑥ りゅうずを押し込むと操作は完了です。
(ねじロック式の場合は、ロックしてください。)



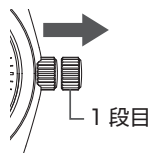
月末の日付修正について

2月(一カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(一カ月が30日)では日付の修正が必要になります。

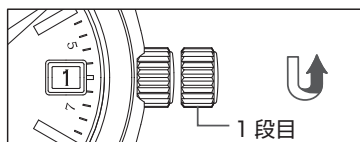
日付の修正は、時針を2周させて行います。

時針を時計回りに2周(24時間)回すと「日を送る」ことができます。

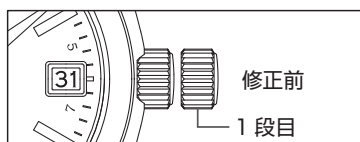
- ① りゅうずを1段目まで引き出してください。
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)



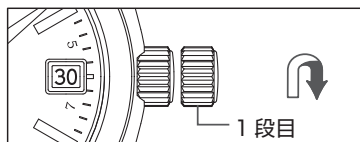
- ② りゅうずを回して、時針を2周させることに、日付が「一日分」修正されます。
りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。
午前・午後を確認して合わせましょう。



左方向(6時方向)に回す:
時針を2周させると日付が一日送られます。



※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ日付修正が少ない方向で合わせてください。
※りゅうずはゆっくりと回してください。
※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。



右方向(12時方向)に回す:
時針を2周させると日付が一日戻ります。

- ③ 操作が終わったら、時刻が合っているかどうかを確認してりゅうずを押し込んでください。これで操作は完了です。
(ねじロック式の場合は、ロックしてください。)
※この操作では時針と日付が運動して動きます。
そのため、時刻の午前・午後が合っていないと、日付が半日ずれることがあります。
※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ日付修正が少ない方向で合わせてください。
※合わせたい時刻が午後7時～午前1時の場合、一旦、午後6時まで戻した後、時計回りに時針が進むようになりゅうずを左方向(6時方向)に回して合わせてください。
※りゅうずを回すときは、時針の1時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。
※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。

24 時針の使いかた

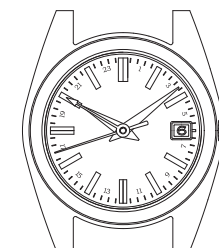
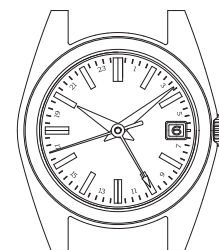
24 時針には以下の2つの機能があります。

タイプ1 : 午前・午後を区別する
時分針が示す時刻を24時間制で表示する
(通常の使いかた)

タイプ2 : デュアルタイムとして使う
時差修正機能を使って、時分針が示す時刻とは異なる地域の時刻を表示する
(一時間以上の時差がある地域の時刻)

時分針、24時針ともに日本時間(午前10時)

時分針 : 日本時間(午前10時)
24時針 : ニューヨーク時間(午後8時)



時差修正機能について

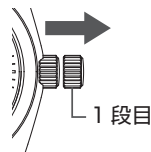
時差のある地域へ移動するときなどに、簡単に目的地の時刻に合わせられます。操作のときに時計を止めることはありません。

時針は目的地の時刻を示し、24 時針は元の地域の時刻を示します。

時針は日付と連動しているため、正しい操作が行なわれると目的地の日付を表示します。

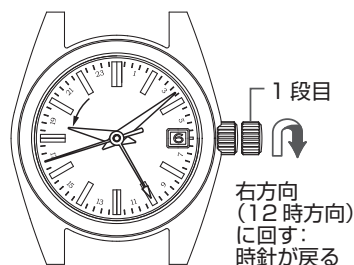
時差修正機能の使いかた

- ① りゅうずを 1 段目まで引き出してください。
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)



- ② りゅうずを回して目的地の時刻に合わせます。
午前・午後、日付を確認して合わせましょう。
※この操作では時針と日付が連動して動きます。

そのため、時刻の午前・午後が合っていないと、日付が半日ずれることがあります。
「世界の主な地域の時差一覧」→ P.26



※りゅうずを回すときは、時針の一時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。

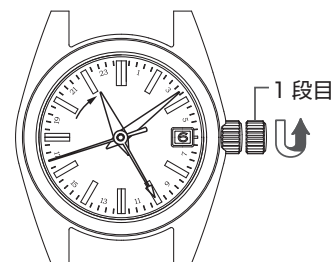
※りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前 0 時です。

※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。

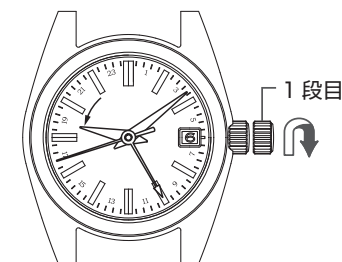
- ③ 操作が終わったら、時刻が合っているかどうかを確認してりゅうずを押し込んでください。これで操作は完了です。
(ねじロック式の場合は、ロックしてください。)
※合わせたい時刻が午後 7 時～午前 1 時の場合、一旦、午後 6 時まで戻した後、時計回りに時針が進むようになりゅうずを左方向(6 時方向)に回して合わせてください。

目的別の使いかた

時差修正機能を使うと、2 つの地域の時刻を表示させるデュアルタイムとしてお使いいただけます。表示のしかたは二通りあり、目的によって使い分けることができます。



【例 1】
時針・日付 : A 地域(日本)
24 時針 : B 地域(ニューヨーク)



【例 2】
時針・日付 : B 地域(ニューヨーク)
24 時針 : A 地域(日本)

24 時針を合わせた後で、時針を合わせます。

日付の瞬間送りについて

機種 9F86 は通常連動中、午前 0 時 00 分～午前 0 時 05 分の間の瞬間時に日付が変わるように設計されています。

(通常のクォーツ時計は午後 9 時～午前 0 時の間に徐々に表示が変わるように設計されています。)

※時刻の合わせかたによって、瞬間送りができない場合があります。

合わせたい時刻が午後 7 時～午前 1 時の場合、一旦、午後 6 時まで戻した後、時計回りに時針が進むようになりゅうずを左方向(6 時方向)に回して合わせてください。

世界の主な地域の時差一覧

都市名	協定世界時(UTC)からの時差	日本標準時(JST)からの時差	その他の地域
東京	+9 時間	0 時間	ソウル
北京	+8 時間	-1 時間	香港、シンガポール
バンコク	+7 時間	-2 時間	ジャカルタ
ダッカ	+6 時間	-3 時間	
カラチ	+5 時間	-4 時間	
ドバイ	+4 時間	-5 時間	
ジッダ	+3 時間	-6 時間	バグダッド
カイロ	+2 時間	-7 時間	★ アテネ
★ パリ	+1 時間	-8 時間	★ ローマ、★ ベルリン
★ ロンドン	0 時間	-9 時間	
★ アゾレス諸島	-1 時間	-10 時間	
★ リオデジャネイロ	-3 時間	-12 時間	
サントドミンゴ	-4 時間	-13 時間	
★ ニューヨーク	-5 時間	-14 時間	★ モントリオール
★ シカゴ	-6 時間	-15 時間	★ メキシコシティ
★ デンバー	-7 時間	-16 時間	
★ ロサンゼルス	-8 時間	-17 時間	★ バンクーバー
★ アンカレッジ	-9 時間	-18 時間	
ホノルル	-10 時間	-19 時間	
ミッドウェー島	-11 時間	-20 時間	
★ ウェリントン	+12 時間	+3 時間	★ オークランド
ヌーメア	+11 時間	+2 時間	
★ シドニー	+10 時間	+1 時間	グアム

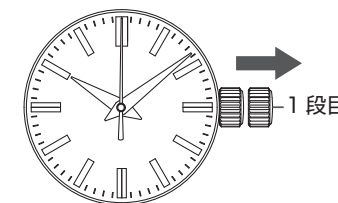
※★印の地域ではサマータイムが導入されています。

※各地域の時差及びサマータイムの有無は、2019年1月時点の情報に基づいております。これらは、国または地域の都合により変更される場合があります。

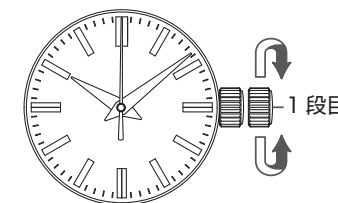
ご使用方法(9F61、4J51の場合)

時刻の合わせかた

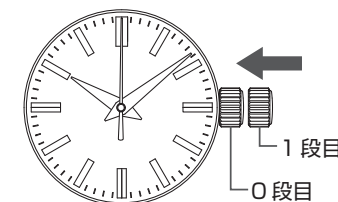
① りゅうずを引き出すと秒針が止まります。図のように12時位置に秒針を止めてください。



② りゅうずを回して針を合わせてください。クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから逆にもどすように合わせてください。



③ 時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込むと再び動き出します。



ご使用方法(4J52の場合)

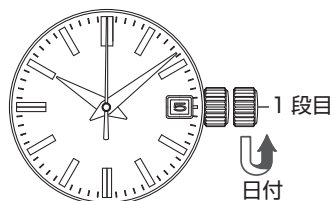
⚠ 注意

時計の機構上、午後9時～午前3時の間に日付を合わせると、翌日になっても変わらないことがあります。

この時間帯での操作はできるだけお避けください。

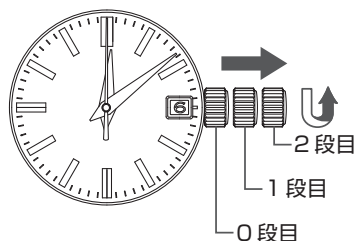
時刻・日付の合わせかた

- ① 最初に、日付を合わせます。りゅうずを1段引き出します。
(秒針は動いています)



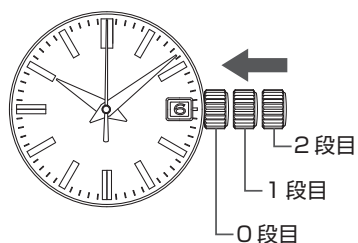
- ② りゅうずを左方向(6時方向)に回して合わせたい日の前日の日付にセットしてください。

- ③ 次に、秒針が12時の位置にきたら、りゅうずを2段目まで引き出します。(秒針は止まります。) 今日の日付になるまで、りゅうずを左方向(6時方向)に回して針を進めてください。



- ④ 日付は24時間で一日変わるように設計されていますので、午前/午後を間違えないようにりゅうずを回して時刻を合わせてください。
クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから逆にもどすように合わせてください。

- ⑤ 時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込むと再び動き出します。



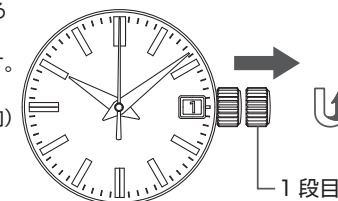
月末の日付修正について

2月(一カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(一カ月が30日)では日付の修正が必要になります。

【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合

「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出して、日付が「1日」になるようにりゅうずを左方向(6時方向)に回してください。

りゅうずを押し込むと操作は完了です。

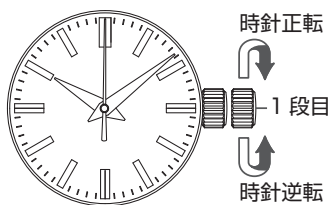


ご使用方法(8J55の場合)

この時計は時差修正を行える機能を備えています。時計の分針、秒針を止めずに簡単な操作で時針だけを一時間単位で修正することができます。海外旅行の際などにたいへん便利です。

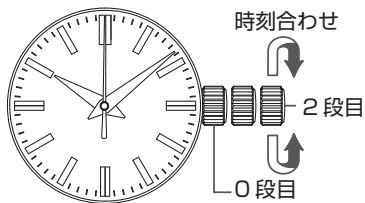
時針単独時差修正のしかた

- ① りゅうずを1段引き出します。
(秒針は動いています。)
- ② 時差修正はりゅうずを右方向(12時方向)に回すと時針が正転、左方向(6時方向)に回すと逆転し、一時間単位で修正(時針)できます。



時刻の合わせかた

- ③ 時針の位置を修正後、秒針が12時の位置にきたりゅうずを2段目まで引き出します。
(秒針は止まります。)
- ④ りゅうずを回して針を合わせてください。
クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから逆にもどすように合わせてください。
- ⑤ 時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込むと再び動き出します。



■ダイバーズモデルの機能

回転ベゼルについて

回転ベゼルを使って、潜水などの経過時間を測定することができます。この時計の回転ベゼルは、逆回転防止ベゼルです。ダイバーズウォッチでは、潜水時間がエア残量に影響するため、ベゼル上での経過時間が実際の潜水時間よりも短くならないように、反時計回りにしか回転しない構造になっています。

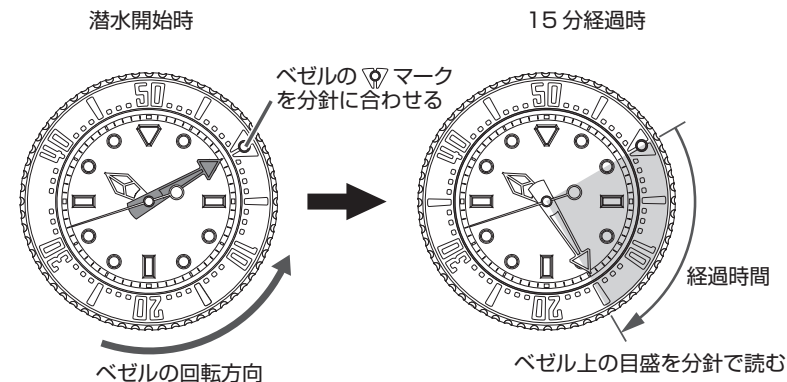
⚠注意

潜水時には、エア残量の確認をしっかりと行い、回転ベゼルによる経過時間はひとつのめやすとお考えください。

回転ベゼルの使いかた

- ① 潜水開始時などの時間の測定を開始するタイミングで、回転ベゼルのマークを分針に合わせます。
- ② 経過時間は、分針が示すベゼル上の目盛です。

【例】10時10分に潜水を開始した場合

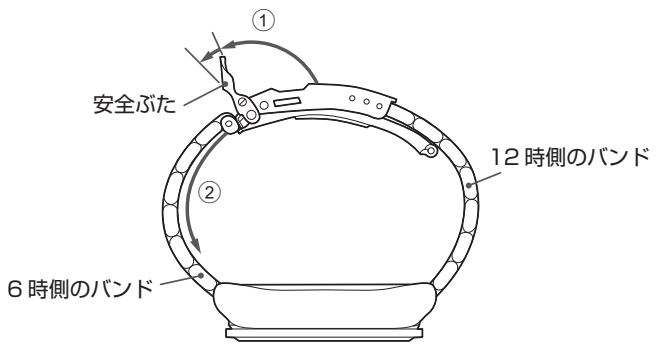


ダイバーアジャスターについて

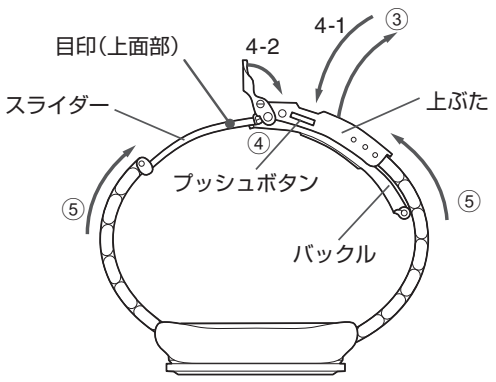
金属バンドで、ダイバーアジャスター機構がついている場合、バンドの長さを簡単に調節できます。ウエットスーツや防寒着などの上に時計を着用する際などにお役立てください。

ダイバーアジャスターの使いかた

- ① 安全ぶたを 90 度起こし、さらに 20 度倒し、そのまま軽く押さえる。
※多少抵抗がありますが、軽い力で倒れますので力を入れすぎないようにご注意ください。
- ② 6 時側のバンドをバンドのカーブに沿う方向に(曲線を描くように)引く。
※この操作も軽い力でできますので、力を入れ過ぎないようにしてください。
※スライダーは約 30mm 伸びます。無理に引き出さないようにご注意ください。



- ③ プッシュボタンを押しながら上ぶたを持ち上げて、中留を開き、手首に着ける。
- ④ 上ぶた(4-1)、安全ぶた(4-2)の順にふたを閉じる。
- ⑤ 時計を着けていない方の手で、バンドを適当なところまで縮める。

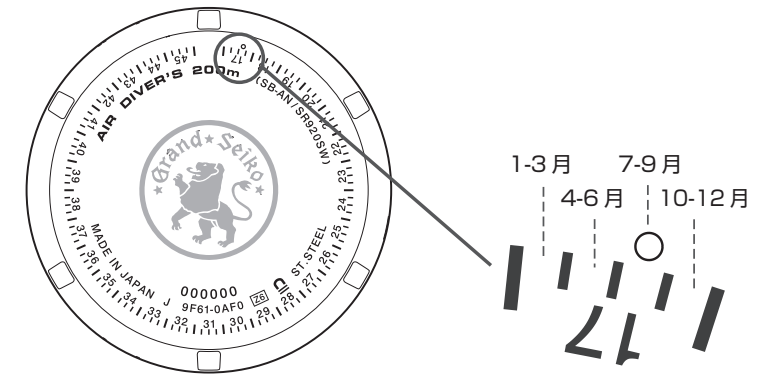


電池交換時期のめやすについて

電池交換時期のめやすとして、時計の裏ぶたに下図のように目盛が刻印されております。ご購入時には第 1 回目のめやすが丸点マークで刻印されておりますので、その位置をご参考にしてください。

電池交換時期目盛の読みかた

【例】電池交換時期が 2017 年の 7 月～9 月の場合



- 目盛上のアラビア数字は西暦の下 2 桁を表しています。
- 第 2 回目以降の電池交換時期のめやすは、電池交換で製品をお預かりする際に上図と同じようにマークを刻印してお知らせしますので、ご参考にしてください。

■ ご注意いただきたいこと

アフターサービスについて

保証と修理について

- 修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- 保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。
- 保証期間終了後の有料の内装修理・オーバーホールは、コンプリートサービスとなります。コンプリートサービスとは、内装修理・オーバーホール時にケースや金属バンドに簡単なポリッシュ(表面を整え、つやを出すサービス)を施すものです。

補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は通常 10 年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

点検調整のための分解掃除(オーバーホール)について

- 長くご愛用いただくために、3 年～4 年に一度程度の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。
ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。
またバッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。
点検調整のための分解掃除(オーバーホール)は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、バッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

保証について

取扱説明書にそった正常なご使用により、保証期間内に不具合が生じた場合は、下記の保証規定によって無料で修理・調整いたします。

保証の対象部分

- 時計本体(ムーブメント・ケース)および金属バンドです。

保証の適用外

(保証期間あるいは保証対象部分であっても、次のような場合には有料になります。)

- 皮革・シリコン・布などのバンドの交換
- ご使用中に生じるケース、ガラス、バンドなどへの傷・汚れなど
- 事故または不適切な取り扱いによって生じた故障および損傷
- 火災・水害・地震等の天災地変による故障および損傷
- 保証書の字句を書き換えられた場合
- 保証書のご提示がない場合

保証を受ける手続き

- 不具合が生じた場合は、時計に必ず保証書を添えてご持参の上、お買い上げ店にご依頼ください。
- ご贈答、転居などによりお買い上げ店での保証が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口にご依頼ください。

その他

- 修理の際、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用する場合があります。
修理用部品の保有期間は「補修用性能部品について」→ P.34 をご参照ください。
- 金属バンドなどの調整は、お買い上げ店または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
その他の販売店では有料もしくはお取り扱いいただけない場合があります。
- 保証は、保証書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お手入れについて

日ごろからこまめにお手入れしてください

- りゅうずを引き出して洗わないでください。
- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。

※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
「キャリバー番号および防水性能ご確認のお願い」→ P.3

りゅうずは時々回してください

- りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。
「りゅうずについて」→ P.10

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド

- ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかい布でふき取ってください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかい歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
残った水分は柔らかい布でふき取ってください。
- チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- 万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

皮革バンド

- 水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- 時計本体が日常生活用強化防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

シリコンバンド

- 材料の特性上、バンドに汚れがつきやすく、しみこんだりして、変色を生じることがあります。汚れた場合は、ぬれた布やウェットクリーニングティッシュ等ですぐにふきとってください。
- 他の材料に比べ、亀裂が生じた場合そこから切れてしまう恐れがあります。先の鋭い刃物などで傷つけないよう、ご注意ください。

かぶれやアレルギーについて

バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

バンドサイズのめやすについて

バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。
時計を着けた状態で、指一本入る程度が適当です。



耐磁性能について(磁気の影響)

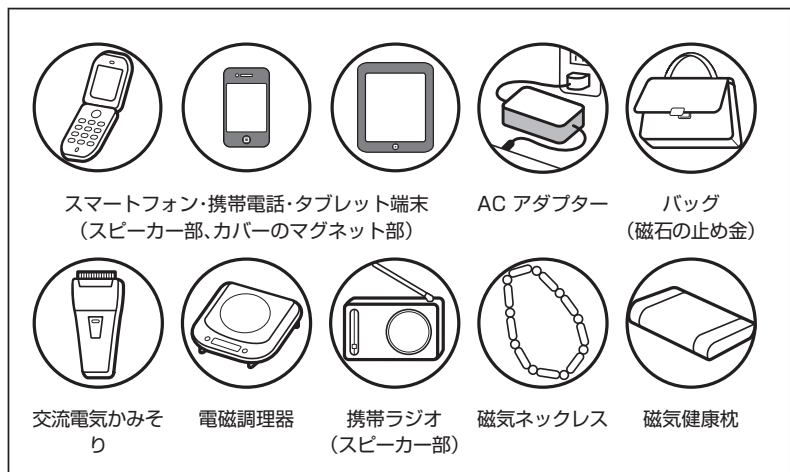
この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ぶた表示	お取り扱い方法	保証水準
耐磁性能表示なし ※ダイバースモデルの場合	磁気製品より 5cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS1 種)	4,800A/m
	磁気製品より 1cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS2 種)	16,000A/m
MAGNETIC RESISTANT 40000A/m	日常生活のみならず、特殊作業環境下において磁気製品に 1cm まで近づけたとしても、ほとんどの場合性能を維持できます。	40,000A/m

※A/m(アンペア毎メートル)とは、磁界の強さを表す国際単位(SI 単位)です。

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。

ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間(約 10 分間:500 ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約 3 時間~5 時間)発光します。光が当たらなくなってから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。
※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。始めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。(目の暗順応)
※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

照度のめやすについて

環境	明るさ(照度)のめやす	
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	曇り	10,000 ルクス
屋内(昼間窓際)	晴れ	3,000 ルクス以上
	曇り	1,000~3,000 ルクス
照明 (白色蛍光灯 40W の下で)	雨	1,000 ルクス以下
	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス(通常室内レベル)
	4m	250 ルクス

こんなときには

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	電池寿命切れとなった。	直ちに電池交換を、お買い上げ店にご依頼ください。
時計が一時的に進む/遅れる。	暑いところまたは寒いところに長く置いた。	精度は、常温にもどれば元にもどります。時刻を合わせ直してください。
	磁気を発生するもののそばに置いた。	精度は磁気の発生するものから離せば元に戻りますので、時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。強い振動が加えられた。	時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
秒針が 2 秒遅延している。	電池寿命が近づいた。	直ちに電池交換を、お買い上げ店にご依頼ください。
日付が日中に変わる。	時刻合わせが 12 時間ずれている。	12 時間、針を進めて時刻および日付を合わせ直してください。
ガラスのくもりが消えない。	バッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

■ うるう秒について

普通 1 日は標準時間で 86,400 秒ですが、86,401 秒になることがあります。これは、地球の自転の誤差による時刻の狂いを補正するもので、これを「うるう秒」と呼びます。「うるう秒」が実施されると、時計が標準時間に比較して 1 秒進みになりますので、時刻を修正してください。

- 「うるう秒」は、世界各国の天文台の観測情報にもとづき、英国のグリニッジ天文台を中心として全世界いっせいに実施されます。
- グリニッジ標準時では、「12 月 31 日」または「6 月 30 日」の午後 11:59～午前 0:00 が 61 秒間となります。
- 日本の場合、時差換算すると、うるう秒がおこなわれる日は「1 月 1 日」または「7 月 1 日」で、日本時間の午前 8:59～午前 9:00 の 60 秒間が 61 秒間となりますが、おこなわれないこともありますので新聞等でご確認ください。

■ 製品仕様(ムーブメント関係)

水晶振動数	32,768Hz(Hz = 1 秒間の振動数)
精度	年差±10 秒
作動温度範囲	-10℃～+60℃
駆動方式	ステップモーター式
電子回路	発振・演算・分周・温度補正・駆動回路(C-MOS-IC)1 個

※精度は常温(5℃～35℃)において、1 日 8 時間程度腕につけた状態を基準としております。ただし、携帯の条件によっては、月間 2 秒程度までは遅れる(進む)場合があります。

※仕様は改良のため予告無く変更することがあります。

■ 使用電池

キャリアー	使用電池(SB-)	電池寿命
9F86	AN	約 3 年
9F85		
9F83		
9F82		
9F62		
9F61		
4J52	AG	約 5 年
4J51	AC	
8J55	AN	

○表の電池寿命は新しく電池を入れたときのもので、お買い上げ時の電池は検査用のモニター電池ですので、表に記載される期間より早く切れることがあります。

○秒針が 2 秒おきに動くようになりますと、電池寿命が間近であることの合図です。ただし、この状態でも時刻は正常です。

お客様相談室

お電話でのお問い合わせ

0120-302-617 (通話料無料)

※お客様の電話番号の通知をお願いしております。
電話機が非通知設定の場合は、電話番号の頭に「186」をつけておかけください。

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～21:00
土曜・日曜・祝日・年末年始 9:30～17:30

セイコーウォッチ株式会社